

PMMoV(P<sub>1.2</sub>)抵抗性

# ピーマン みおぎ (L<sup>3</sup>)



公益財団法人 園芸植物育種研究所

〒270-2221 千葉県松戸市紙敷 2-5-1  
Tel.047-387-3827 Fax.047-386-1455

# みおぎ

## 品種特性

- 草勢は強く、節間はやや長めで、側枝の生育も良好です。
- 果実はやや長めでシワがあり、栽培後期まで果実は柔らかく、良好な品質を保ちます。
- 果実の肥大が早く、短い周期の収穫が可能で、多収性品種です。
- 日照の少ない冬の低温期から、夏季の高温期まで着果性が良く、安定した収穫が可能です。
- PMMoV(P<sub>1.2</sub>)(トウガラシ微斑ウイルス)に抵抗性(L<sup>3</sup>)があります。
- 促成長期栽培から夏秋栽培まで、幅広い作型に適応します。

## 栽培の要点

- 収量を上げるため、若苗定植や第1~2分枝までの摘蕾を行い、初期から草勢を確保することが大切です。
- 過度の着果負担により草勢が弱ると、とがり果や曲がり果等の変形果が増加し、主枝が芯止まりになるので、Mサイズ中心で取り遅れないように、こまめに収穫してください。
- 果実肥大が早く収量性が高い特性を発揮するため、灌水は1回あたり少量で回数を多くすることを基本とし、特に、高温期には1日あたりの灌水回数を増やしてください。
- 追肥は、収穫開始の時期から肥料切れにならないように、即効性の液肥等でこまめに行うように心がけてください。
- 露地栽培でも果実は柔らかく品質は良いが、多雨期には腐敗果が発生しやすいので雨よけ栽培をお勧めします。
- 青枯病に一定の抵抗性をもちますが、発病する圃場ではピーマン台木「台助」に接ぎ木栽培することをお勧めします。

公益財団法人 園芸植物育種研究所

〒270-2221 千葉県松戸市紙敷 2-5-1  
Tel. 047-387-3827 Fax. 047-386-1455